

四半期報告書

(第97期第1四半期)

株式会社歌舞伎座

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
3 【経営上の重要な契約等】	4
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	15

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月14日

【四半期会計期間】 第97期第1四半期(自2020年3月1日至2020年5月31日)

【会社名】 株式会社歌舞伎座

【英訳名】 KABUKI-ZA CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 武 中 雅 人

【本店の所在の場所】 東京都中央区銀座四丁目12番15号

【電話番号】 直通03(3541)5572

【事務連絡者氏名】 経理部長 高 橋 克 彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座四丁目12番15号

【電話番号】 直通03(3541)5572

【事務連絡者氏名】 経理部長 高 橋 克 彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第1四半期 連結累計期間	第97期 第1四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	931,264	415,913	3,742,952
経常利益又は経常損失(△) (千円)	100,538	△136,936	322,435
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△) (千円)	71,117	△113,138	212,540
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	512,419	728,323	279,906
純資産額 (千円)	11,743,722	12,178,061	11,510,252
総資産額 (千円)	26,810,046	27,012,376	26,195,748
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失(△) (円)	5.88	△9.35	17.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	43.8	45.1	43.9

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。なお、現在新型コロナウイルス感染症の影響により、劇場歌舞伎座の歌舞伎公演が7月まで休演となり、8月から公演再開となるものの、8月興行は感染予防対策の観点から幕間のない四部制の興行となり、連結子会社が運営する劇場内の食堂・飲食、売店事業の業績に大きな影響があります。今後も感染拡大防止、感染予防のための事業活動の制約が、当社グループの経営成績に重大な影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

① 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用・所得環境は悪化し、個人消費も急速に減少しております。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、劇場歌舞伎座の歌舞伎公演が3月より休演となり、劇場内及び関連施設の賃料の減額及び連結子会社の食堂・飲食、売店事業の店舗休業を実施した結果、前年同四半期と比較して大幅な減収・減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は415,913千円(前年同四半期55.3%減)、営業損失は153,095千円(前年同四半期は営業利益84,333千円)、経常損失は136,936千円(前年同四半期は経常利益100,538千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は113,138千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益71,117千円)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、劇場等の賃料減額の影響により、売上高は395,188千円(前年同四半期16.7%減)、セグメント利益は保守料(舞台緞帳昇降機の交換・保守点検、劇場外壁洗浄、劇場内・木挽町広場の洗浄・消毒作業等)の増加等により69,257千円(前年同四半期63.2%減)となりました。

食堂・飲食事業、売店事業については、歌舞伎公演の中止により場内施設が休業したこと及び関連施設の営業自粛により、大幅な減収・減益となりました。

食堂・飲食事業につきましては、売上高は4,975千円(前年同四半期97.1%減)となり、セグメント損失は50,446千円(前年同四半期はセグメント利益6,488千円)となりました。

売店事業については、売上高は15,748千円(前年同四半期94.4%減)、セグメント損失は49,178千円(前年同四半期はセグメント利益21,599千円)となりました。

② 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ816,628千円増加し27,012,376千円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ268,805千円減少し1,585,457千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,085,433千円増加し25,426,919千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による増加1,213,998千円及び有形固定資産の取得による増加26,137千円、減価償却等による減少149,936千円であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ72,491千円減少し786,892千円となりました。主な要因は、買掛金の減少及びその他(預り金等)の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ221,311千円増加し14,047,422千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価したこと等による繰延税金負債の増加及び流動負債への振替による長期前受金の減少であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ667,808千円増加し12,178,061千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価したことによるその他有価証券評価差額金の増加であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2%上昇し45.1%となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,170,000	12,170,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	12,170,000	12,170,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	—	12,170,000	—	2,365,180	—	2,405,394

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 67,100	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,056,400	120,564	—
単元未満株式	普通株式 46,500	—	—
発行済株式総数	12,170,000	—	—
総株主の議決権	—	120,564	—

(注) 単元未満株式には当社所有の自己保有株式2株が含まれております。

② 【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社歌舞伎座	東京都中央区銀座 4-12-15	67,100	—	67,100	0.55
計	—	67,100	—	67,100	0.55

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新創監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,753,341	1,501,450
受取手形及び売掛金	25,284	9,729
たな卸資産	31,821	32,617
その他	44,037	41,684
貸倒引当金	△221	△24
流動資産合計	1,854,262	1,585,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,980,683	8,915,121
土地	6,238,098	6,238,098
建設仮勘定	53,179	-
その他（純額）	138,196	133,138
有形固定資産合計	15,410,157	15,286,358
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	51	37
施設利用権	8,638	8,366
ソフトウェア	9,285	8,747
無形固定資産合計	2,631,274	2,630,450
投資その他の資産		
投資有価証券	5,768,738	6,982,736
長期前払費用	443,447	439,505
その他	87,868	87,868
投資その他の資産合計	6,300,053	7,510,110
固定資産合計	24,341,485	25,426,919
資産合計	26,195,748	27,012,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,697	2,570
未払金	183,675	208,740
未払法人税等	40,291	6,811
前受金	400,240	408,318
賞与引当金	19,962	25,957
その他	61,517	134,495
流動負債合計	859,384	786,892
固定負債		
長期末払金	115,770	98,490
長期前受金	12,321,590	12,248,387
繰延税金負債	1,228,009	1,541,875
退職給付に係る負債	74,485	72,625
長期預り保証金	86,255	86,043
固定負債合計	13,826,111	14,047,422
負債合計	14,685,496	14,834,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,671	3,256,671
利益剰余金	4,308,679	4,135,026
自己株式	△297,615	△297,615
株主資本合計	9,632,914	9,459,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,877,337	2,718,799
その他の包括利益累計額合計	1,877,337	2,718,799
純資産合計	11,510,252	12,178,061
負債純資産合計	26,195,748	27,012,376

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	931,264	415,913
売上原価	702,067	431,187
売上総利益又は売上総損失(△)	229,196	△15,273
販売費及び一般管理費		
人件費	82,585	84,237
賞与引当金繰入額	6,428	6,046
退職給付費用	1,664	3,262
租税公課	7,747	6,594
減価償却費	1,383	1,197
その他	45,053	36,483
販売費及び一般管理費合計	144,862	137,821
営業利益又は営業損失(△)	84,333	△153,095
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	14,777	14,777
その他	1,513	1,708
営業外収益合計	16,298	16,496
営業外費用		
その他	94	337
営業外費用合計	94	337
経常利益又は経常損失(△)	100,538	△136,936
特別損失		
有形固定資産除却損	-	※1 34,258
特別損失合計	-	34,258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,538	△171,194
法人税、住民税及び事業税	18,058	614
法人税等調整額	11,362	△58,670
法人税等合計	29,420	△58,056
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71,117	△113,138
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71,117	△113,138

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71,117	△113,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	441,301	841,461
その他の包括利益合計	441,301	841,461
四半期包括利益	512,419	728,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512,419	728,323

【注記事項】

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、2020年3月からの歌舞伎公演の休演が当社グループの企業運営に重大な影響を与えております。

当該状況につきましては、2020年7月までは休演の影響があるものの2020年8月以降は状況が改善すると仮定して、繰延税金資産の回収可能性に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 有形固定資産除却損

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

主に、劇場の舞台床檜板張替工事に伴うものであり、その内訳は、有形固定資産の除却額及び撤去費用であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
減価償却費	122,938千円	123,083千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月30日 定時株主総会	普通株式	60,515	5	2019年2月28日	2019年5月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	60,514	5	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	474,636	174,484	282,143	931,264	-	931,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,582	107	92	43,782	△43,782	-
計	518,218	174,591	282,236	975,046	△43,782	931,264
セグメント利益	188,049	6,488	21,599	216,137	△131,803	84,333

(注)1 セグメント利益の調整額△131,803千円は、セグメント間取引消去△4,677千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△127,126千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	395,188	4,975	15,748	415,913	-	415,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,332	80	23	20,436	△20,436	-
計	415,521	5,055	15,772	436,349	△20,436	415,913
セグメント利益又は損失(△)	69,257	△50,446	△49,178	△30,367	△122,728	△153,095

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△122,728千円は、セグメント間取引消去△4,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,127千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及びその算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	5円88銭	△9円35銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	71,117	△113,138
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)(千円)	71,117	△113,138
普通株式の期中平均株式数(株)	12,103,063	12,102,898

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月10日

株式会社歌舞伎座
取締役会 御中

新創監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高 橋 克 典 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 篠 原 一 馬 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社歌舞伎座の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社歌舞伎座及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月14日

【会社名】 株式会社歌舞伎座

【英訳名】 KABUKI-ZA CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 武 中 雅 人

【最高財務責任者の役職氏名】 該当事項はありません。

【本店の所在の場所】 東京都中央区銀座四丁目12番15号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長武中雅人は、当社の第97期第1四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。